

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	北海道鍼灸専門学校
設置者名	学校法人 北海道鍼灸専門学校

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	鍼灸科（昼間部）	夜・通信	637	240	
	鍼灸科（夜間部）	夜・通信	637	135	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

実務経験のある授業科目については、担当教員の所属、経歴を記載したシラバスを学生に配付するとともに、同様の内容を本校ホームページに掲載する (<https://www.shinkyu.ac.jp/information-disclosure/>)。

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	北海道鍼灸専門学校
設置者名	学校法人 北海道鍼灸専門学校

1. 理事（役員）名簿の公表方法

理事名簿の公表については、本校ホームページに掲載する (<https://www.shinkyu.ac.jp/information-disclosure/>)。

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	宮の森病院 医師	令和元年5月～ 令和5年5月	財務（財務・情報公開・施設設備）
非常勤	宮の森病院 医師	令和元年5月～ 令和5年5月	教育研究（教育・学術研究・学生支援・地域連携）
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	北海道鍼灸専門学校
設置者名	学校法人 北海道鍼灸専門学校

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容、到達目標、成績評価の方法などを記載した共通フォーマットのシラバスを作成し、毎年担当者に変更点などの確認を行い、加筆・修正を加えている。 ・シラバスについては年度初め(毎年4月授業開始日)に全学生に配付し、内容を周知している。 ・学生に配付しているシラバスと同一の内容についてホームページ上に公開している(4月)。 	
授業計画書の公表方法	https://www.shinkyu.ac.jp/information-disclosure/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<ul style="list-style-type: none"> ・成績評価は中間試験・期末試験(期末試験のみの科目もある)、提出物をもとに100点満点の点数方式で行う。 ・評価方法についてはシラバスに示し、学生に周知している。 ・学期末には成績評価をもとに単位認定委員会にて単位を認定する。 ・1年次、2年次において、その年度で履修すべきすべての授業科目を履修し、単位を修得した学生は、次の学年に進級できる。 	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)	
<ul style="list-style-type: none"> ・成績評価は中間試験・期末試験(期末試験のみの科目もある)、提出物をもとに100点満点の点数方式で行う。 ・評価方法についてはシラバスに示し、学生に周知している。 ・個々の学生の各授業科目の成績評価点数(100点満点)を平均した値を算出し、学生の成績の分布を把握する。 ・評価結果については全体における順位、評価点数の平均した値が把握できる成績表を学生に配布し(学期末に)周知している。 	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.shinkyu.ac.jp/information-disclosure/
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)	
<ul style="list-style-type: none"> ・本校の3年間で履修すべきすべての授業科目を履修し、すべての単位を修得した学生について卒業を認定する。この内容について学生に周知している。 ・卒業認定会議を3年次の2月に行い、卒業を認定する。 	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.shinkyu.ac.jp/information-disclosure/

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	北海道鍼灸専門学校
設置者名	学校法人 北海道鍼灸専門学校

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.shinkyu.ac.jp/information-disclosure/
収支計算書又は損益計算書	https://www.shinkyu.ac.jp/information-disclosure/
財産目録	https://www.shinkyu.ac.jp/information-disclosure/
事業報告書	https://www.shinkyu.ac.jp/information-disclosure/
監事による監査報告（書）	https://www.shinkyu.ac.jp/information-disclosure/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	鍼灸科（昼間部）	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 2655 単位時間／単位	開設している授業の種類				
	昼		講義	演習	実習	実験	実技
3年			1860 単位時間 /単位	30 単位時間 /単位	225 単位時間 /単位	60 単位時間 /単位	480 単位時間 /単位
		2655 単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90人		89人	0人	7人	9人	16人	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	鍼灸科（夜間部）	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 2655 単位時間／単位	開設している授業の種類				
	夜		講義	演習	実習	実験	実技
3年			1860 単位時間 /単位	30 単位時間 /単位	225 単位時間 /単位	60 単位時間 /単位	480 単位時間 /単位
		2655 単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90人		70人	0人	7人	10人	17人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） 鍼灸科（昼間部）
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業内容、到達目標、成績評価の方法などを記載した共通フォーマットのシラバスを作成し、毎年担当者に変更点などの確認を行い、加筆・修正を加えている。 ・シラバスについては年度初め（毎年 4 月授業開始日）に全学生に配付し、内容を周知している。 ・学生に配付しているシラバスと同一の内容についてホームページ上に公開している（4 月）。
成績評価の基準・方法 鍼灸科（昼間部）
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シラバスの項目に評価方法を示し、学生に周知している。具体的には中間試験・期末試験（期末試験のみの科目もある）を行い、学習成果を評価している。
卒業・進級の認定基準 鍼灸科（昼間部）
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1 年度に履修すべき全ての授業科目を履修し、単位を修得した学生について進級を認定する。 ・進級判定会議を毎年 3 月に行い、進級を認定する。 ・本校の 3 年間で履修すべきすべての授業科目を履修し、すべての単位を修得した学生について卒業を認定する。この内容について学生に周知している。 ・卒業認定会議を 3 年次の 2 月に行い、卒業を認定する。
学修支援等 鍼灸科（昼間部）
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラス担任による学生相談及び、学校独自の奨学金制度、学費納入分割等で就学支援を行っている。

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） 鍼灸科（夜間部）
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業内容、到達目標、成績評価の方法などを記載した共通フォーマットのシラバスを作成し、毎年担当者に変更点などの確認を行い、加筆・修正を加えている。 ・シラバスについては年度初め（毎年 4 月授業開始日）に全学生に配付し、内容を周知している。 ・学生に配付しているシラバスと同一の内容についてホームページ上に公開している（4 月）。
成績評価の基準・方法 鍼灸科（夜間部）
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シラバスの項目に評価方法を示し、学生に周知している。具体的には中間試験・期末試験（期末試験のみの科目もある）を行い、学習成果を評価している。
卒業・進級の認定基準 鍼灸科（夜間部）
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1 年度に履修すべき全ての授業科目を履修し、単位を修得した学生について進級を認定する。 ・進級判定会議を毎年 3 月に行い、進級を認定する。 ・本校の 3 年間で履修すべきすべての授業科目を履修し、すべての単位を修得した学生について卒業を認定する。この内容について学生に周知している。 ・卒業認定会議を 3 年次の 2 月に行い、卒業を認定する。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
鍼灸科（昼間部）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
20人 (100%)	1人 (5.0%)	17人 (85.0%)	2人 (10.0%)
（主な就職、業界等） 鍼灸治療院、鍼灸整骨院、病院 等			
（就職指導内容） ・就職担当教員を中心として開業している鍼灸治療院、企業、関連する専門学校を招聘しガイダンスを行った。			
（主な学修成果（資格・検定等））			
資格・検定名	受験者数	合格者数	
はり師	20人	20人	
きゅう師	20人	19人	
（備考）（任意記載事項）			

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
鍼灸科（夜間部）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
22人 (100%)	1人 (4.5%)	19人 (86.4%)	2人 (9.1%)
（主な就職、業界等） 鍼灸治療院、鍼灸整骨院、病院 等			
（就職指導内容） ・就職担当教員を中心として開業している鍼灸治療院、企業、関連する専門学校を招聘しガイダンスを行った。			
（主な学修成果（資格・検定等））			
資格・検定名	受験者数	合格者数	
はり師	22人	21人	
きゅう師	22人	22人	
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
151 人	1 人	0.7%
(中途退学の主な理由) 経済上の理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任による学生相談及び、学校独自の奨学金制度、学費納入分割等で就学支援を行っている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
鍼灸科 (昼間部)	200,000 円	660,000 円	490,000 円	
鍼灸科 (夜間部)	200,000 円	660,000 円	490,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
北海道鍼灸専門学校、北海道柔道整復専門学校ダブルスクール制度：姉妹校である北海道柔道整復専門学校専門学校に在学中、又は卒業した次年度に本校へ入学をした場合。本校在学中に姉妹校へ入学した場合、在学期間の各学年次授業料から 200,000 円減免をする。3 年間で 600,000 円減免を上限とする。				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.shinkyu.ac.jp/information-disclosure/		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制)		
学内で自己点検・評価を行い、自己点検・評価報告書を作成する。作成された自己点検・評価報告書を基に学校関係者評価委員会(委員定数3名以上、卒業生、関係業界、専修学校団体・職能団体・専門分野別の関係団体、中学校・高等学校、保護者・地域住民により構成される委員)にて評価する。評価内容は自己評価の評価項目が適切かどうか、自己評価の結果の内容が適切かどうか、自己評価の結果を踏まえ今後の改善方針が適切かどうか、学校運営の改善に向けた実際の取組が適切かどうかを評価する。学校関係者評価で得られた評価結果や改善を要する点について学校長を中心に年度内に改善できるように努めている。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
北海道鍼灸師会 監事	令和4年4月～令和6年3月	企業等委員
鍼灸治療院 院長	令和4年4月～令和6年3月	企業等委員
鍼灸整骨院 院長	令和4年4月～令和6年3月	企業等委員
本校卒業生、保護者代表	令和4年4月～令和6年3月	卒業生、保護者代表
北海道柔道整復専門学校 教員	令和4年4月～令和6年3月	関連学校教員
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.shinkyu.ac.jp/information-disclosure/		
第三者による学校評価(任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.shinkyu.ac.jp/information-disclosure/
--

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	北海道鍼灸専門学校
設置者名	学校法人 北海道鍼灸専門学校

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		一人	一人	一人
内 訳	第Ⅰ区分	一人	一人	
	第Ⅱ区分	一人	一人	
	第Ⅲ区分	一人	一人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				一人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）
の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給
付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより
認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下）	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	0人	0人	0人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。